



色彩館に咲く

ハイビスカス

Hibiscus rosa-sinensis

アオイ科フヨウ属

原産地：世界各地の熱帯、亜熱帯と一部の温帯地域



夏が似合う南国の花

ハイビスカスは、名前を聞くだけで多くの方がハワイやフラダンスなどのイメージが思い浮かぶような「南国の花」という印象が強い植物です。実は花木として良く知られているムクゲもハイビスカスと同じ仲間です。こちらは中国が原産で北海道でも越冬することができます。

ハイビスカスには原種とされるものが約 250 品種あり、観賞用のほか、食用、繊維用などにも栽培され園芸品種も含めると、その品種数は 3000 を超えるといわれています。中でも原種の一つであるハイビスカス ロサシネンシス (*Hibiscus rosa-sinensis*) という品種は和名では「ブッソウゲ」と呼ばれ、多くの園芸品種を生み出しました。日本に入ってきたのは 1814 年、薩摩藩から江戸幕府へ「リュウキュウムクゲ」の名前で献上されており、おそらく琉球へはさらに古い時代から渡来していたと考えられます。江戸時代には何度か琉球から持ち込まれた記録がありますが、温室の無い当時は栽培に成功しなかったようです。

多種多様な園芸品種のハイビスカスは 3 タイプに

分けることができます。

1 つ目はハイビスカスの種類の中で交配された年代が古い「オールドタイプ」。ハワイアンタイプの母体となった品種の総称です。中輪や小輪のものが多く、生育が旺盛で多花性、花色は赤、ピンク、黄、クリームなどですっきり咲くのが特徴です。

2 つ目は「コーラルタイプ」と呼ばれ、フウリンブッソウゲという原種を元にして交配された品種のグループです。フウリンブッソウゲとはフリルのような咲き方をする赤い花が、長い枝から垂れ下がって咲くのが特徴の品種です。このタイプはフウリンブッソウゲの血を引くことから、花色は主として赤系統が多く、花首を下げうつむき加減に咲きます。

3 つ目は「ハワイアンハイビスカス」と呼ばれるタイプです。多くがハワイで品種改良されたことに由来します。ハイビスカスの種類の中で最も多いタイプで、花が大きく、豪華で色彩豊かなことが特徴です。

色彩館の南国植物温室でも他の熱帯植物に交ざり八重咲きの品種が花を咲かせ始めています。



一番花の季節が過ぎて、「今年のバラは終わりだね」と思われている方もいらっしゃるかと思いますが、これからが楽しみな季節になってきます。一番花の咲き揃う豪華さにはかないませんが、二番花、三番花と続々咲いてきます。お盆過ぎあたりに二番花が開花してきますが、真夏の花は暑さにやられ生育も衰えてくるので一番花とは違い少し花が小さくなります。花が小さくなったからといって慌てることはなく、気温の問題があることを頭に入れておきましょう。バラの生育適温は約 18～25℃であり、30℃を超える場合や、5℃を下回るようであればバラは生育を止めます。秋のバラ(三番花)は気温が下がる日が増え、昼夜の寒暖差によってじっくりと生育するため、色味が濃く、良い香りが長く続きます。初夏の一番花の大きさには若干劣りますが、また違う魅力、色味と香り。バラはまだまだ楽しめます。

秋花知らずして バラ、語るべからず。

秋バラの見ごろは本州地域よりも一足早く、
9月中旬頃から10月中旬頃です。

昼夜の寒暖差が大きくなる秋深い時季、北国ならではの秋バラは絶品です。

山の紅葉を背景に映える秋バラも見事です。

秋バラの見ごろは、 9月中旬ごろから。

アサガオの
つるの話



くるりくるり。

小学校の夏休み、鍵盤ハーモニカや絵の具セットと一緒にアサガオの鉢植えを持ち帰った経験がある人も多いでしょう。

アサガオのつるをよく見ると、全てのつるが同じ

方向に巻いているのが確認できます。どの位置から見たかによって右巻きか左巻きかが変わってしまうため、学術的には右巻きとされており、これはアサガオの視点から見て右巻き、つまり時計回りで巻いていることとなります。

なぜ右巻きなのかは解明されていませんが、頑(かたく)なに右巻きで登る姿勢は遺伝子の神秘を感じることができます。

よし
なし
ごと

ひとつき ひとバラ



文：新堂大樹
(いわみざわ公園バラ園)



第二十九回

グランディフローラ ローズ

ドリーム カム トゥルー

Dream Come True

作出国：アメリカ

作出者：Pottschmidt

作出年：2006年

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き性

交配：Unknown × Unknown

花は半剣弁高芯咲きでルビーレッドに縁取られた黄色い覆輪の珍しい花を咲かせます。咲き進むにつれて赤みが増していき、1株でもさまざまな色の違いがあります。やさしいティー系の香りを放ち、なんといっても魅力なのは強健性です。2008年にはAARS賞を受賞しており花の美しさはもちろん、耐病性についても高い評価がつけられています。

この品種はバラへの強い情熱をもつ Dr. John Pottschmidt(ドクター ジョン・ポットシュミット)により開発されました。開発された場所はアメリカ・カリフォルニアのウィークスローズ社でアメリカでも有数のナーセリーです。この品種をはじめ、ここで作出されたバラは総称して「ウィークスローズ」と呼ばれています。新しいバラ作出のために毎年約35,000本のバラを交配させて約20万粒の種を作り、それを8年～10年間かけて育成し、その中から厳選されたたった3～4種の新品種がウィークス

ローズです。ウィークスローズは、当園でも栽培している「センチメンタル」や「ベティブープ」をはじめ、多くの品種がAARS賞を受賞しています。数々の交配を経て生まれてきた優秀なバラだということがわかりますね。

ドリームカムトゥルーといえば、日本でも有名なバンド DREAMS COME TRUE と名前が類似していてなんだか親近感が沸くかと思えます。意味にすると「夢を叶える」になりますが、賞を受賞したこのバラを生み出した作出者自身の夢が叶った由縁から名前が命名されたのかもしれないですね。

当園でも栽培しているこの品種ですが一番花が終わり、二番花に向けて着々と生育しています。株もだんだんと大きくなり、下馬評どおりの強健性で葉もモリモリとし、秋まで花が楽しめるそうです。二番花が8月中旬頃に、秋花が9月中旬頃より見ごろとなりますので、是非当園に足を運んでみてください。

あなたの1枚がポストカードになるかも！

いわみざわ公園バラ園 写真展📷作品募集！

募集期間：8月1日(月)～21日(日)

発表：9月3日(土) いわみざわ公園バラ園色彩館にて

いわみざわ公園バラ園にて撮影されたバラの写真を募集します！
皆様のとっておきの1枚を応募してみませんか？
優秀作品は1年間色彩館にて展示されます。
たくさんのご応募をお待ちしています！



詳しい応募要項についてはHPか色彩館にお問い合わせください。

8月の市民園芸講座のご案内



- 8月7日(日) 13:00~15:00 花木・庭木の剪定と管理
無料 定員：40名 講師：川原 元信さん 川原花木園
- 8月14日(日) 13:00~15:00 折りバラを楽しもう 初級
無料 定員：15名 講師：バラ園スタッフ
- 8月20日(土) 13:00~15:00 小果樹などをさし木でふやそう
無料 定員：40名 講師：棚橋 生子さん 道立総合研究機構 林業試験場
- 8月27日(土) 10:00~12:00
ばらゼミ⑥～秋花を120%楽しむためのテクニク
無料 定員：40名 講師：工藤 敏博さん ローズグローワー